

## 猿楽塚古墳・北塚(渋谷区)

標柱には猿楽神社とある



右手が北塚で左手(ビルに隠れている)に南塚がある/下記の説明板によると、この通りが鎌倉街道が通っていた所らしい



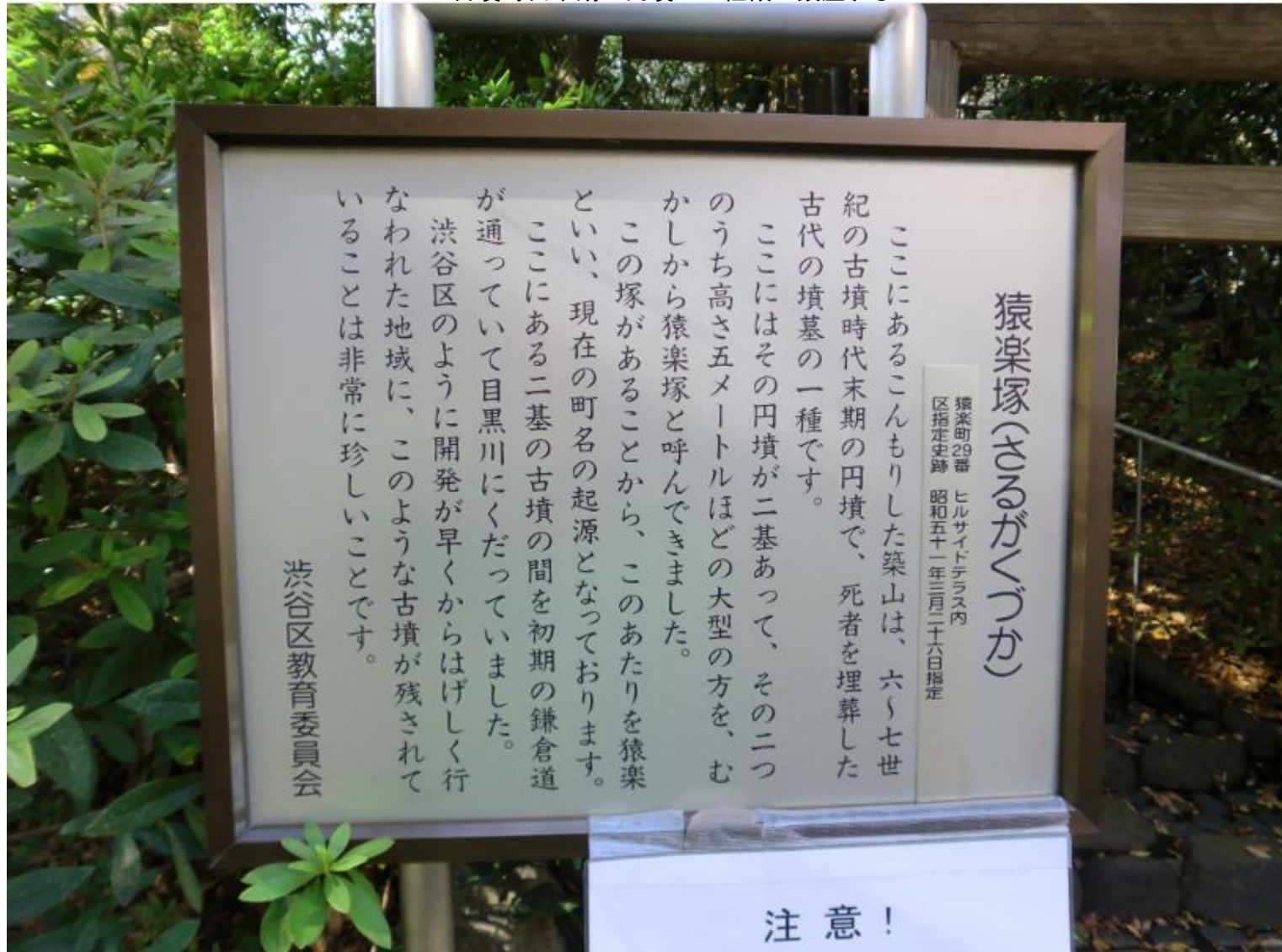
鳥居が見える



北塚(猿楽塚)



古墳時代末期の円墳上に社殿が鎮座する



### 猿楽塚(さるがくづか)

猿楽町29番 ヒルサイトテラス内  
区指定史跡 昭和五十一年三月二十六日指定

ここにあるこんもりした築山は、六〜七世紀の古墳時代末期の円墳で、死者を埋葬した古代の墳墓の一種です。

ここにはその円墳が二基あって、その二つのうち高さ五メートルほどの大型の方を、むかしから猿楽塚と呼んできました。

この塚があることから、このあたりを猿楽といひ、現在の町名の起源となっております。

ここにある二基の古墳の間を初期の鎌倉道が通っていて目黒川にくだっていました。

渋谷区のように開発が早くからはげしく行なわれた地域に、このような古墳が残されていることは非常に珍しいことです。

渋谷区教育委員会

注意!

墳丘を登る





樹種  
樹高  
樹齢  
樹皮  
樹幹  
樹冠  
樹根  
樹葉  
樹花  
樹果  
樹実  
樹種  
樹高  
樹齢  
樹皮  
樹幹  
樹冠  
樹根  
樹葉  
樹花  
樹果  
樹実

樹種  
樹高  
樹齢  
樹皮  
樹幹  
樹冠  
樹根  
樹葉  
樹花  
樹果  
樹実

樹種  
樹高  
樹齢  
樹皮  
樹幹  
樹冠  
樹根  
樹葉  
樹花  
樹果  
樹実

この隣に朝倉家住宅(重要文化財)がある

## 猿楽神社縁起

古よりこの地に南北に並ぶ二基の円墳があり。北側に位置する大型墳を猿楽塚と呼称している。この名称は、江戸時代の文献「江戸砂子」「江戸名所図会」等にも見られ、我苦を去るという意味から、別名を去我苦塚と称したとも言われている。六、七世紀の古墳時代末期の円墳と推定され、都市化その他の理由により渋谷区内の高塚古墳がほとんど煙滅したなかで、唯一現存する大変貴重な存在であり、昭和五十一年三月十六日に、渋谷区指定文化財第五号に指定された。

この地に移住する朝倉家は戦国時代からの旧家であり、遠祖は甲州の武田家に臣属し、後に武蔵に移り、中代より渋谷に住み、代々、無比の敬神家として、渋谷金王八幡宮と氷川神社の両鎮守への参拝を常とし、また氷川神社改建の折にも尽力している。

朝倉家では、大正年間に塚上に社を建立し、現在、天照皇大神、素戔鳴尊、猿楽大明神、水神、笠森稻荷を祀り、二月十八日、十一月十八日を祭礼日と定めて、建立以来、一族をはじめ、近隣在郷の信仰を集めている。

平成十四年十一月十八日

朝倉徳道 撰





境頂に鎮座する猿楽神社社殿











墳頂から下を見る



ビルに囲まれている





墳丘を下りる





周囲を時計回りに廻って見る

















# 南塚

さて、前方がもう一つの南塚



別の角度から見ると墳丘が確認できる/私有地のため、立入禁止であった



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/tokyo/23ku/sarugaku.htm>

<http://www.mptokyo.net/sm/mini-trip/index.html>

<http://kofun.info/kofun/707>

<http://blog.livedoor.jp/kf7654/archives/50804164.html>

<http://gogohiderin.blog.fc2.com/blog-entry-19.html>

